



2009年3月期第2四半期決算説明会資料

- 2009年3月期第2四半期決算概要
- 2009年3月期通期見通し
- 中期経営計画策定に向けての進捗状況



IT Holdings

2009年3月期第2四半期決算概要

● 計画比で増収増益

単位:百万円

ITホールディングス	2008年9月期	期初計画	計画比	
売上高	163,426	160,000	3,426	2.1%
営業利益	9,400	8,000	1,400	17.5%
経常利益	9,479	8,300	1,179	14.2%
四半期純利益	4,491	3,900	591	15.2%

● サービス分野別の状況

- ・ アウトソーシング・ネットワーク : 主要顧客向けの売上高増加およびネクスウェイの業績が寄与したことなどから、好調に推移。
- ・ ソフトウェア開発 : 大型案件に係る売上高の計上および新規案件の寄与などの増加要因があり、やや上回る。
- ・ ソリューション : 大口顧客の更新需要が一服したことなどから、苦戦。

● グループの状況

- ・ TIS、ユーフィット、クオリカなどが好調に推移し、グループ全体を牽引。
インテックにおける第1四半期の引当処理の影響やアグレックスなどの業績伸び悩みをカバー。
- ・ 2008年7月にネクスウェイを子会社化。7月以降の連結業績に寄与。
- ・ TISにおいて継続中の大型案件については、計画に沿って順調に進捗し、11月に稼働開始。

2009年3月期第2四半期 サマリー(ITホールディングス)



単位:百万円

ITホールディングス	2007年9月期		2008年9月期		前年同期比		期初計画		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比	金額	差異率
売上高	152,278	100.0%	163,426	100.0%	11,148	7.3%	160,000	100.0%	3,426	2.1%
アウトソーシング	—	—	60,793	37.2%	—	—	58,500	36.6%	2,293	3.9%
ネットワーク	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ソフトウェア開発	—	—	82,001	50.2%	—	—	81,500	50.9%	501	0.6%
ソリューション	—	—	14,913	9.1%	—	—	16,500	10.3%	▲1,587	▲9.6%
その他(注)	—	—	5,717	3.5%	—	—	3,500	2.2%	2,217	63.3%
営業利益	2,553	1.7%	9,400	5.8%	6,847	268.2%	8,000	5.0%	1,400	17.5%
経常利益	2,563	1.7%	9,479	5.8%	6,916	269.8%	8,300	5.2%	1,179	14.2%
四半期純利益	1,198	0.8%	4,491	2.7%	3,293	274.9%	3,900	2.4%	591	15.2%

※ 2007年9月期実績はTIS連結数値とインテックホールディングス連結数値を単純合算したものであり、前年同期比増減もこれを前提として算出しています。

※ 2007年9月期実績はTIS連結とインテックホールディングス連結でセグメントが異なっております。そのため、セグメント別売上高は記載しておりません。

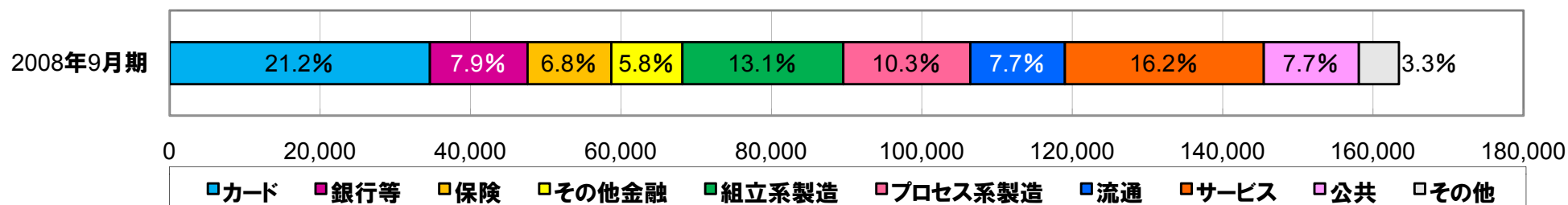
※ 2008年9月期実績は2008年7月に子会社化したネクスウェイの業績(7月～9月)を含んでおり、その影響額は以下のとおりです。

売上高2,240百万円、営業利益496百万円、経常利益458百万円、四半期純利益466百万円、のれん償却▲144百万円

(注)2008年9月期の「その他」に含まれるリース事業については、従来のリース会計基準を適用しております(転リース取引分をグロス処理)。

業種別売上高

単位:百万円



2009年3月期第2四半期 サマリー（旧TISグループ）

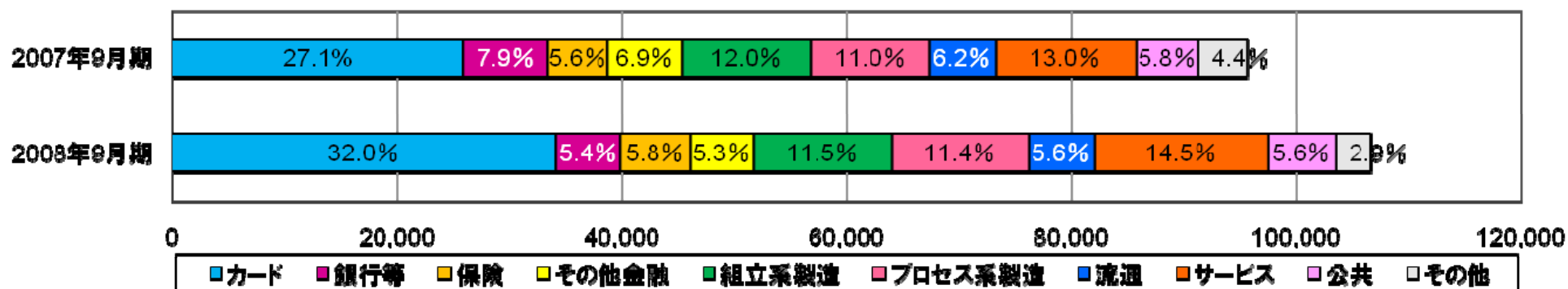
単位：百万円

旧TISグループ	2007年9月期		2008年9月期		前年同期比		期初計画		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比	金額	差異率
売上高	95,592	100.0%	106,555	100.0%	10,963	11.5%	102,000	100.0%	4,555	4.5%
アウトソーシング ネットワーク	39,921	41.8%	42,124	39.5%	2,203	5.5%	41,000	40.2%	1,124	2.7%
ソフトウェア開発	42,432	44.4%	52,814	49.6%	10,382	24.5%	49,000	48.0%	3,814	7.8%
ソリューション	11,296	11.8%	10,123	9.5%	▲1,173	▲10.4%	10,500	10.3%	▲377	▲3.6%
その他	1,942	2.0%	1,493	1.4%	▲448	▲23.1%	1,500	1.5%	▲7	▲0.5%
営業利益	▲1,077	▲1.1%	6,273	5.9%	7,350	—	4,300	4.2%	1,973	45.9%
経常利益	▲640	▲0.7%	6,759	6.3%	7,399	—	5,000	4.9%	1,759	35.2%
四半期純利益	▲1,300	▲1.4%	3,466	3.3%	4,766	—	2,100	2.1%	1,366	65.0%

※ 登録管理ネットワークの売上高547百万円を「その他」から「アウトソーシング・ネットワーク」に組み替えております。（2008年9月期）
上記組替え前の「アウトソーシング・ネットワーク」売上高は41,576百万円、「その他」売上高は2,041百万円となります。

業種別売上高

単位：百万円



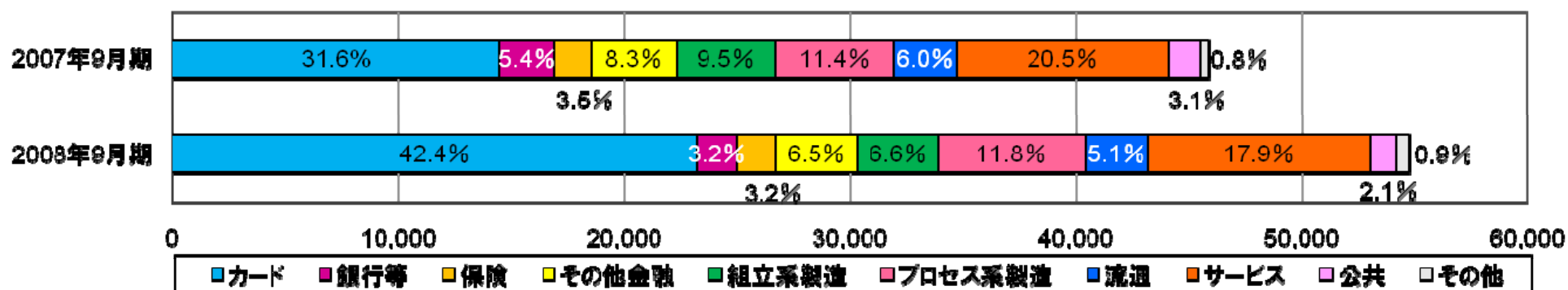
2009年3月期第2四半期 サマリー (TIS)

単位:百万円

TIS	2007年9月期		2008年9月期		前年同期比		期初計画		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比	金額	差異率
売上高	45,954	100.0%	54,744	100.0%	8,790	19.1%	51,000	100.0%	3,744	7.3%
アウトソーシング ネットワーク	15,428	33.6%	17,021	31.1%	1,593	10.3%	16,500	32.4%	521	3.2%
ソフトウェア開発	23,521	51.2%	31,872	58.2%	8,351	35.5%	28,000	54.9%	3,872	13.8%
ソリューション	7,005	15.2%	5,850	10.7%	▲1,155	▲16.5%	6,500	12.7%	▲650	▲10.0%
営業利益	▲4,330	▲9.4%	1,434	2.6%	5,764	—	1,000	2.0%	434	43.4%
経常利益	▲3,927	▲8.5%	2,231	4.1%	6,158	—	1,600	3.1%	631	39.4%
四半期純利益	▲2,404	▲5.2%	1,589	2.9%	3,992	—	1,000	2.0%	589	58.9%

業種別売上高

単位:百万円



2009年3月期第2四半期 サマリー（インテックホールディングス）



単位：百万円

インテックHD	2007年9月期		2008年9月期		前年同期比		期初計画		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比	金額	差異率
売上高	56,686	100.0%	57,277	100.0%	591	1.0%	58,000	100.0%	▲723	▲1.2%
アウトソーシング	—	—	18,848	32.9%	—	—	17,500	30.2%	1,348	7.7%
ネットワーク	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ソフトウェア開発	—	—	29,340	51.2%	—	—	32,500	56.0%	▲3,160	▲9.7%
ソリューション	—	—	4,789	8.4%	—	—	6,000	10.3%	▲1,211	▲20.2%
その他（注）	—	—	4,298	7.5%	—	—	2,000	3.4%	2,298	114.9%
営業利益	3,630	6.4%	3,426	6.0%	▲204	▲5.6%	3,700	6.4%	▲274	▲7.4%
経常利益	3,203	5.7%	3,072	5.5%	▲131	▲4.1%	3,300	5.7%	▲228	▲6.9%
四半期純利益	2,498	4.4%	1,274	2.3%	▲1,224	▲49.0%	1,800	3.1%	▲526	▲29.2%

※ 当期よりセグメント変更を行っております。そのため、2007年9月期のセグメント別売上高は記載しておりません。

※ 2008年9月期実績は2008年7月に子会社化したネクスウェイの業績(7月～9月)を含んでおり、その影響額は以下のとおりです。

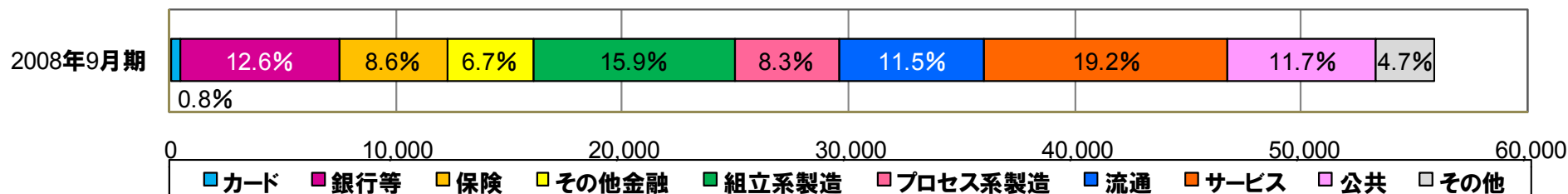
売上高2,240百万円、営業利益496百万円、経常利益458百万円、四半期純利益466百万円、のれん償却▲144百万円

(注)2008年9月期の「その他」に含まれるリース事業については、ITホールディングス連結にあわせて従来のリース会計基準を適用して算出しています。

インテックHDでは、当期より新リース会計基準を早期適用し、転リース取引分はネット処理によっております。その場合の「その他」売上高は1,448百万円減少し、2,851百万円、売上高全体は55,829百万円となり、また営業利益は3百万円増加し、3,429百万円となります。

業種別売上高

単位：百万円



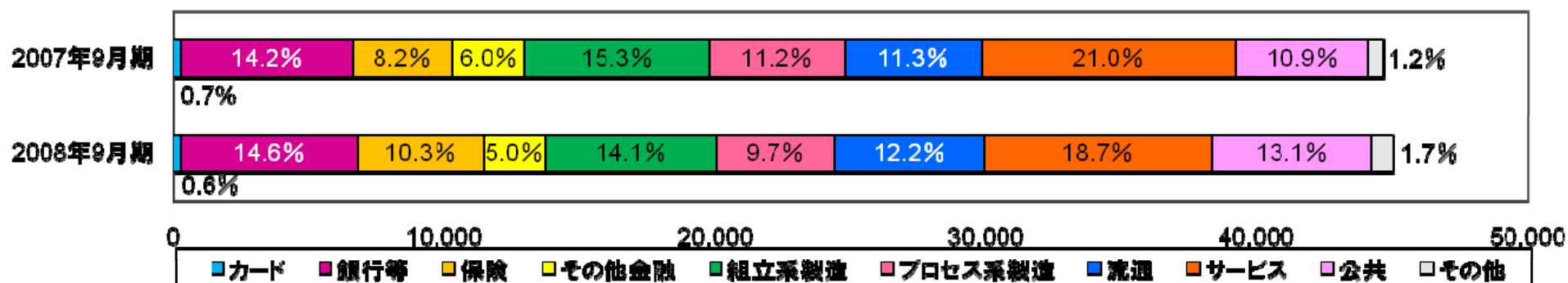
2009年3月期第2四半期 サマリー（インテック）

単位:百万円

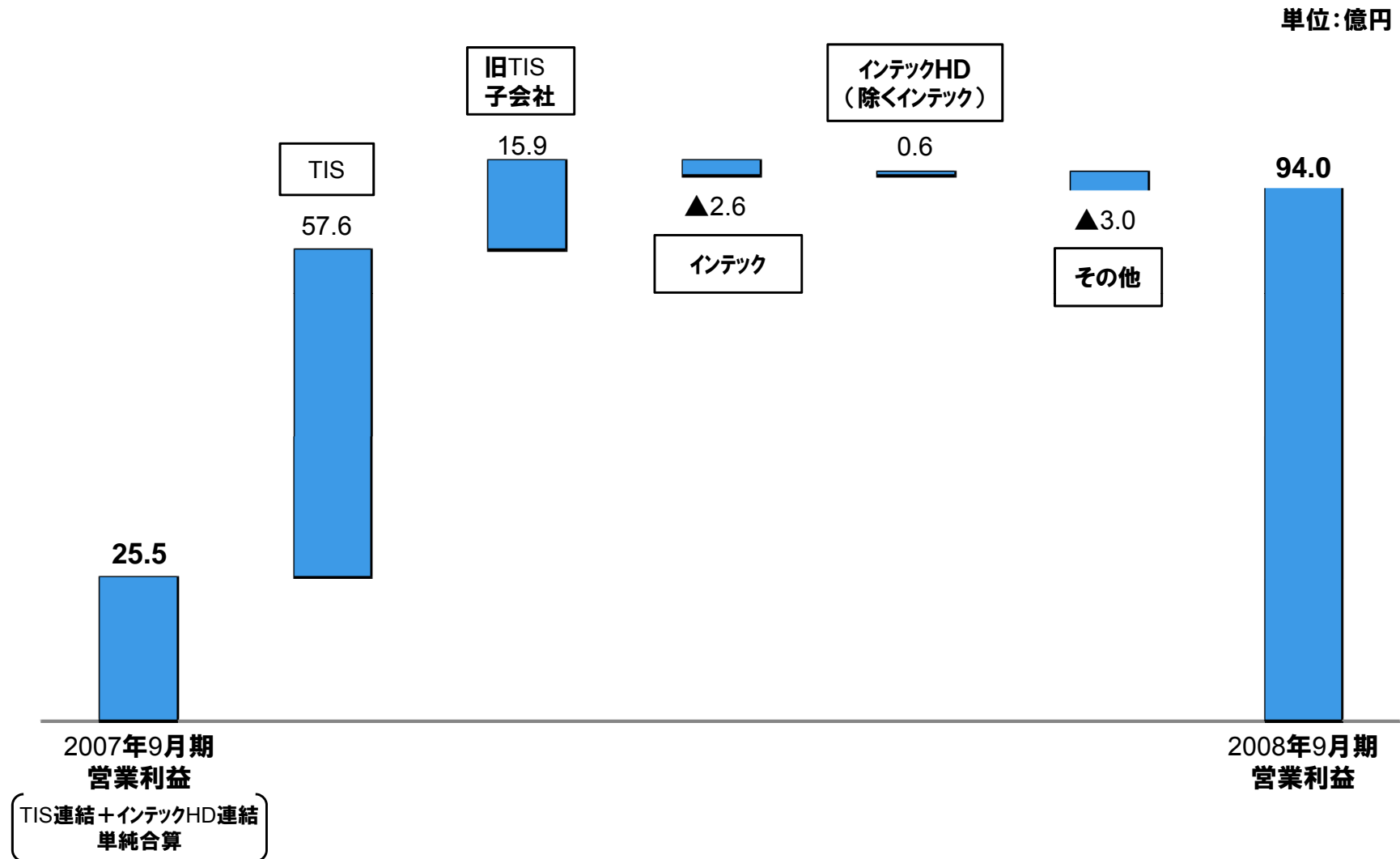
インテック	2007年9月期		2008年9月期		前年同期比		期初計画		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比	金額	差異率
売上高	44,662	100.0%	45,034	100.0%	372	0.8%	47,000	100.0%	▲1,966	▲4.2%
アウトソーシングネットワーク	15,517	34.7%	15,496	34.4%	▲21	▲0.1%	15,000	31.9%	496	3.3%
ソフトウェア開発	24,855	55.7%	25,442	56.5%	587	2.4%	27,500	58.5%	▲2,058	▲7.5%
ソリューション	4,290	9.6%	4,096	9.1%	▲194	▲4.5%	4,500	9.6%	▲404	▲9.0%
営業利益	2,804	6.3%	2,544	5.7%	▲260	▲9.2%	3,100	6.6%	▲556	▲17.9%
経常利益	2,350	5.3%	2,176	4.8%	▲174	▲7.4%	2,550	5.4%	▲374	▲14.7%
四半期純利益	▲1,039	▲2.3%	859	1.9%	1,899	—	1,290	2.7%	▲431	▲33.4%

業種別売上高

単位:百万円



2009年3月期第2四半期 営業利益増減分析 (ITホールディングス)



2009年3月期第2四半期 受注実績(ITホールディングス) 〈ソフトウェア開発〉



単位:百万円

2008年9月期(ITホールディングス)

当期受注高 73,894	当期売上高 82,001
前期末受注残 72,270	当期末受注残 64,163

※ 内部取引分を控除しているため、右記の単純合計とは一致しません。

2008年9月期(旧TISグループ)

当期受注高 39,774	当期売上高 52,814
前期末受注残 53,870 (大型案件以外) 40,089 (大型案件) 13,781	当期末受注残 40,830 (大型案件以外) 34,797 (大型案件) 6,033

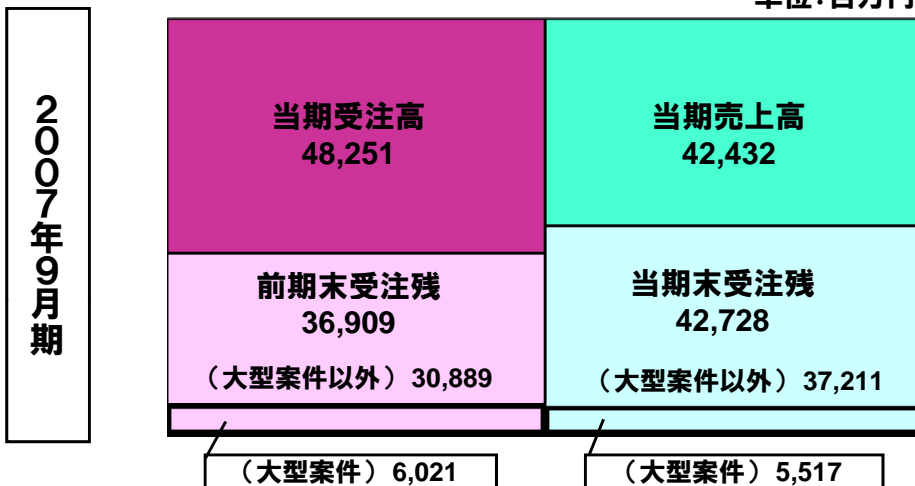
2008年9月期(インテックHD)

当期受注高 34,197	当期売上高 29,340
前期末受注残 18,476	当期末受注残 23,333

2009年3月期第2四半期 受注実績 〈ソフトウェア開発〉

旧TISグループ

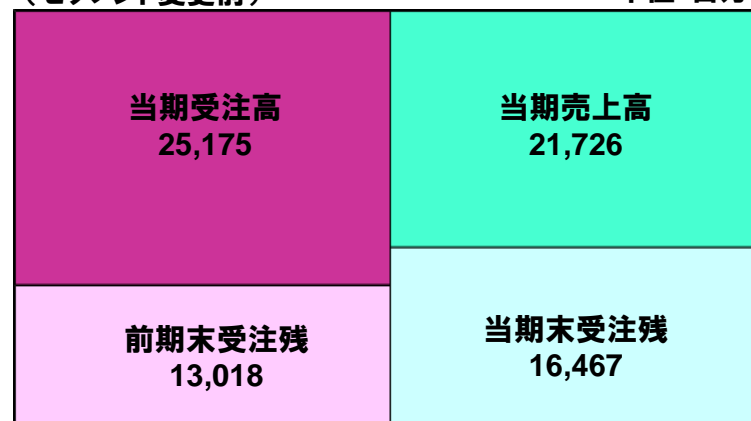
単位:百万円



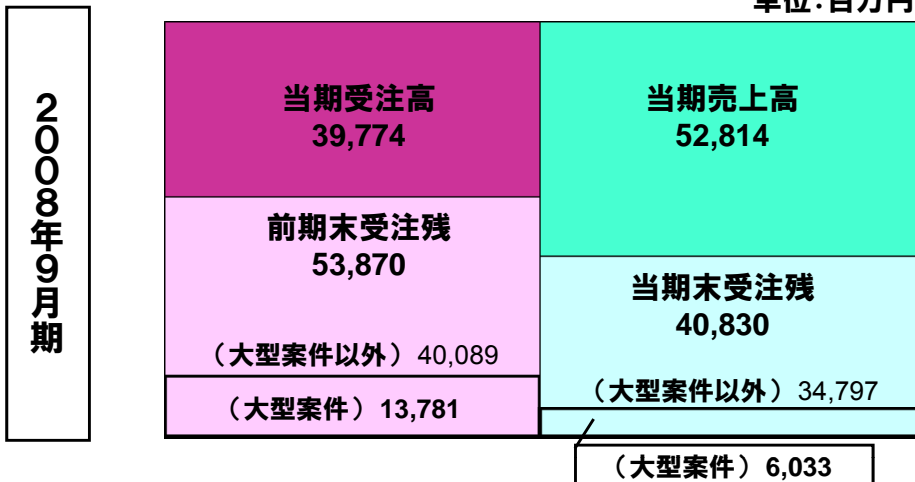
インテックホールディングス

(セグメント変更前)

単位:百万円

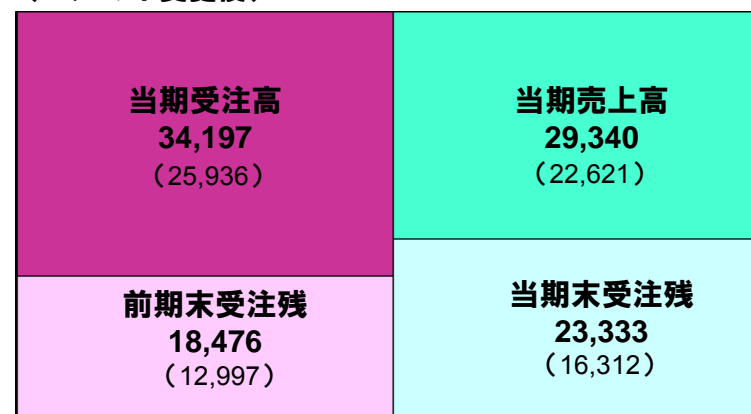


単位:百万円



(セグメント変更後)

単位:百万円



※ 当期よりセグメント範囲を変更しています。
上記カッコ内の数値はセグメント範囲変更前の数値です。

2009年3月期第2四半期 グループ各社の状況 (1/3)

ユーフィット				
出資比率70.4% クレジットカード、信販などに強み。運用中心。				
■ 2008年9月期実績				
<ul style="list-style-type: none"> 金融系顧客における新規案件の獲得が好調。また公共・産業分野においても案件の受注が堅調であり、売上高は計画比増加。 開発案件が順調なほか、運用におけるコスト削減もあり、営業利益は計画比大幅増加。 				
■ 2009年3月期通期見通し				
<ul style="list-style-type: none"> 銀行等顧客のシステム統合に伴う運用・保守案件は減少するも、カード系金融顧客においてシステム統合開発案件、法令改正に付随する開発案件等の受注が好調に推移する見込み。 				
連結	2007年 9月期	2008年 3月期	2008年 9月期	2009年 3月期
売上高	20,150	40,900	21,010	36,730
営業利益	1,150	3,740	2,670	2,800
経常利益	1,220	3,850	2,720	2,890
当期純利益	700	2,300	1,580	1,660

単位:百万円

(計画)

アグレックス					
出資比率50.6% 日本のBPOビジネスのリーディングカンパニー 東証第1部					
■ 2008年9月期実績					
<ul style="list-style-type: none"> 売上高は、金融系システム開発や運用系SIが好調に推移したことや2008年3月に子会社化した登録管理ネットワークの業績が加わったことなどにより、前年同期比増加。 利益面は、新規のBPO案件の立ち上げが遅れたこと、企業の投資意欲減退でパッケージ導入やシステム投資などの先送り傾向が強まったなどにより前年同期比減少。また、次のステージへの飛躍に向けた設備投資や人材投資によるコスト増も一時的に影響。 					
■ 2009年3月期通期見通し					
<ul style="list-style-type: none"> 売上高は、一時的な端境期となったBPOにおいて受注済みの大型案件が徐々に立ち上がってくること、複数の大型商談がクロージングに向け進んでいることなどから、下期は着実に回復軌道をたどる見込み。 利益面は、上期発生の一時的コスト要因がなくなること、プロジェクト損益の向上に努めることなどにより、下期は改善を見込む。 					
連結	2007年 9月期	2008年 3月期	2008年 9月期	2009年 3月期	
売上高	12,474	25,558	12,893	28,000	29,000
営業利益	929	2,079	367	1,150	2,300
経常利益	898	2,123	329	1,100	2,310
当期純利益	458	998	31	400	1,170

単位:百万円

(修正計画)(期初計画)

2009年3月期第2四半期 グループ各社の状況 (2/3)

クオリカ				
出資比率80%(コマツ20%) 製造業、流通・サービス業に強み				
■ 2008年9月期実績				
【増収増益】(前年同期比) ・建機大手のIT投資が活況。増収増益に寄与。 ・上期過去最高益更新。				
■ 2009年3月期通期見通し				
【増収見通し】(前期比) ・建機大手向け開発、運用業務継続。 ・大手飲料・自動車向け大型プロジェクトの受注・開発。				
	2007年 9月期	2008年 3月期	2008年 9月期	2009年 3月期
売上高	8,771	17,973	10,155	20,000
営業利益	590	1,355	869	1,360
経常利益	598	1,356	878	1,360
当期純利益	333	716	432	730

単位:百万円

(計画)

AJS				
出資比率51%(旭化成49%) 製造業、医療分野を中心に展開				
■ 2008年9月期実績				
・旭化成グループ向け事業はシステム運用・保守ともに堅調。新会社システム構築大型案件を獲得。 ・医療システム事業分野は治療システムに関する新製品を開発中。 ・売上は前期比5%の増となったが営業利益は医療新製品開発投資により、22%減、純利益は特損減少等により218%増となった。				
■ 2009年3月期通期見通し				
・旭化成グループ向け事業は引き続き重要案件に注力。 ・医療システム事業分野は、新製品開発と受注獲得に注力。 ・売上高は前期比8%増。営業利益は、医療新製品開発投資により45%減となるものの、実力ベースでは前期を上回る利益を計画。				
	2007年 9月期	2008年 3月期	2008年 9月期	2009年 3月期
売上高	4,740	9,930	4,970	10,800
営業利益	360	910	280	500
経常利益	350	900	270	470
当期純利益	110	540	240	470

単位:百万円

(計画)

エス・イー・ラボ

出資比率51%(TDK11.8%) IBM iSeries関連システムの構築に実績
大証ヘラクレス

■ 2008年9月期実績

- ・売上高はほぼ計画通りに推移したが、自社の会計パッケージ製品(Pliant2)の内部統制対応のための機能強化に伴う原価増加などの影響により、利益面は計画を下回った。

■ 2009年3月期通期見通し

- ・受注は底堅く推移。パッケージ事業の拡充と新規事業の推進・加速により、下期は期初計画を見込む。

連結	2007年 9月期	2008年 3月期	2008年 9月期	2009年 3月期	
売上高	1,305	3,279	1,490	3,300	3,300
営業利益	56	169	▲ 24	90	160
経常利益	56	166	▲ 21	90	160
当期純利益	24	94	▲ 18	39	65

単位:百万円

(修正計画)(期初計画)



IT Holdings

2009年3月期通期見通し

日本の情報サービス産業近況

・金融業

2008年以降のITサービス市場は、メガバンクの統合などの大規模な案件が収束に向かうため、市場成長率は減速すると認識。制度改正への対応や内部統制強化などへの投資など、競争激化に対応するための新たな投資ニーズは今後も期待できる。しかし、景気減退、資本市場の混乱に端を発する損出によるIT投資の抑制から、新規開発を手控える動きが広がる可能性も想定される。

・製造業

材料費高騰のほか、景況感の減退による消費の落ち込みなど収益性の悪化につながる要因が増加している。IT予算のうち、既存システムの運用維持にかかわる必須投資予算は確保されるものの、追加投資や重要度の低い新規開発プロジェクトは見直しや縮小対象になると想定される。

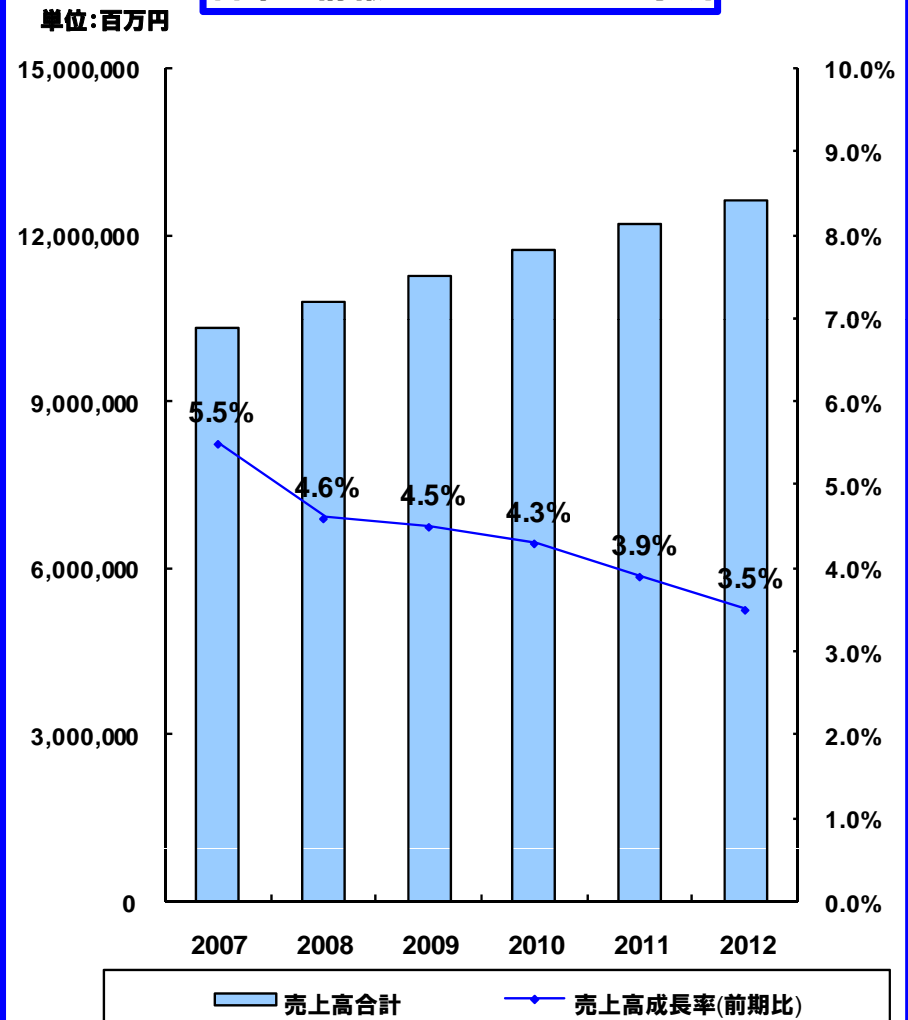
・競争激化による業界再編

金融会計の開発がピークアウトする2008年以降は、ITサービス、エンジニア需給状況の悪化、価格下落が進むおそれがある。それらの理由により、業界再編が進む可能性があるかと想定。

・サービス提供方法の多様化

ASP/サービスとしてのソフトウェア (SaaS) は中規模企業層の開拓に効果を発揮すると考えられ、領域はまだ限定的ながら、利用の拡大が期待できる。また、地銀の共同センターに代表される共同型のアウトソーシング・サービスの需要も拡大していくとみている。

日本の情報サービス産業成長予測



※ガートナー2008年上期ITサービス市場規模予測よりITHD作成

業種別顧客動向 (1/2)

《金融分野》

業種	業界の一般的な動向	ITホールディングスグループへの影響
銀行	<ul style="list-style-type: none"> ・メガバンクの統合などの大規模な案件が収束に向かうため、市場成長率は減速すると認識。 ・制度改正への対応や内部統制強化などへの投資など新たな投資ニーズが期待できる一方、新規IT投資を手控える動きが広がる可能性も想定。 	<p>大手顧客の基幹システムの更新に関する投資状況は高水準にあり、今後減傾向に向かうと認識している。一方で、投資に関するトピックスが多くあり、引き続き高原状態を維持と予測。</p>
クレジットカード	<ul style="list-style-type: none"> ・貸金業法の改正に伴う経営環境の変化。 ・法改正への対応ニーズが高まる一方、収益力の低下を受けたシステム投資予算の縮小傾向もみられる。 ・業界再編に伴うシステム統合や新サービスに対応した次世代システムへの更新は、引き続き重要課題の一つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大手クレジットカード会社の基幹システムの更新案件が稼働開始。 ・別の既存顧客のシステム更新が控えるなど、投資ニーズは引き続き強く、エンジニアの稼働状態は高水準で推移。
保険	<ul style="list-style-type: none"> ・株価低迷による経営環境の悪化が懸念される。 ・行政指導、規制に伴う新たなシステム構築需要。 ・不払い対応によるシステム構築およびBPO需要の高まり。 ・損保業界では、自動車販売不振に伴う自動車保険の販売スピードに減速のおそれ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大手主要顧客のIT投資は、依然高水準。 ・コンサルタントの育成や、ソリューション開発などに着手していたことが奏功し、本格寄与が始まる。 ・来年度以降、外資系、中堅企業に景気後退の影響が懸念される。
リース	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の設備投資マインド自体が冷え込んでいるうえ、一部顧客への与信を厳しくしている背景から、難しい局面が続くとの予測がある。 ・2009年3月期から適用の会計基準変更もマイナス要因。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業績見込みを踏まえ、IT投資マインドに一部冷え込みが見られる。
証券	<p>金融不安、株価低迷により、業界をめぐる環境は悪化。</p>	<p>業績悪化懸念から、新規案件の手控えや小型化の動きが広がるなど、不透明さをます。</p>

注記1 本資料は、当社顧客における業界別のIT投資に関する傾向をまとめたものであり、一般の状況と異なる場合があります。

2 参考文献：日本経済新聞、ガートナー

業種別顧客動向 (2/2)

《産業分野》

業種	業界の一般的な動向	ITホールディングスグループへの影響
組立系製造 (建機)	<ul style="list-style-type: none"> ・販売の減速感が、先進国から新興国に広がる。 ・好調であった中国でも、華南地域を中心に需要が伸び悩み見通しが出始める。 	<p>今期のIT投資は堅調が期待できるが、来期以降は新興国の経済環境による部分が大きいと予測。</p>
組立系製造 (家電)	<ul style="list-style-type: none"> ・円高、株安により、消費マインドの冷え込み出始める。 ・白物家電は、鋼材や樹脂など原材料の価格上昇により、収益を圧迫。 ・年末商戦も苦戦する見込み。 	<p>今年度の売上見込みについては、大きな変更はないが、来年度以降の不透明感が広がる。</p>
プロセス系 製造	<ul style="list-style-type: none"> ・国内景気の減速などにより、内需が低迷 ・中国では石化製品工場の建設ラッシュで供給過剰感がでており、在庫調整のための買い控えも広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年までに受注した案件の本格的な開発が続く。 ・来年度以降の案件受注に関する不透明感がます。
商業・流通 (小売)	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の低価格志向が強まり、ビジネスモデルの変革求められる。 ・高額品は厳しい局面が予想される。 ・スーパーでは、衣料品の不振に続き、食料品にも買い控えの動きが出ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今の業況を踏まえ、IT投資案件に対する投資対効果に向ける視線が厳しくなる。
官公庁	<ul style="list-style-type: none"> ・(中央)政府主導のIT戦略は新たなフェーズに入ったものの、官公庁の予算額は一般的に引き締め傾向にある。 ・(地方自治体)市町村合併によるIT投資も収束し、一般的にIT支出総額は安定傾向が続く。 	<p>地方自治体では、市民サービスの向上のためのIT投資は、安定的に続く。</p>

注記1 本資料は、当社顧客における業界別のIT投資に関する傾向をまとめたものであり、一般の状況と異なる場合があります。

2 参考文献: 日本経済新聞、ガートナー

2009年3月期通期見通し(ITホールディングス)

単位:百万円

ITホールディングス	2008年3月期			2009年3月期			前期比					
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	増減率	下期	増減率	通期	増減率
売上高	152,278 100.0%	170,133 100.0%	322,412 100.0%	163,426 100.0%	176,574 100.0%	340,000 100.0%	11,148	7.3%	6,441	3.8%	17,588	5.5%
アウトソーシング ネットワーク	—	—	—	60,793 37.2%	59,207 33.5%	120,000 35.3%	—	—	—	—	—	—
ソフトウェア開発	—	—	—	82,001 50.2%	96,499 54.7%	178,500 52.5%	—	—	—	—	—	—
ソリューション	—	—	—	14,913 9.1%	19,587 11.1%	34,500 10.1%	—	—	—	—	—	—
その他(注)	—	—	—	5,717 3.5%	1,283 0.7%	7,000 2.1%	—	—	—	—	—	—
営業利益	2,553 1.7%	17,420 10.2%	19,973 6.2%	9,400 5.8%	12,600 7.1%	22,000 6.5%	6,847	268.2%	▲4,820	▲27.7%	2,027	10.1%
経常利益	2,563 1.7%	17,384 10.2%	19,947 6.2%	9,479 5.8%	12,521 7.1%	22,000 6.5%	6,916	269.8%	▲4,863	▲28.0%	2,053	10.3%
当期純利益	1,198 0.8%	7,476 4.4%	8,673 2.7%	4,491 2.7%	6,509 3.7%	11,000 3.2%	3,293	274.9%	▲967	▲12.9%	2,327	26.8%

※ 2008年3月期実績はTIS連結数値とインテックホールディングス連結数値を単純合算したものであり、前年同期比増減もこれを前提として算出しています。

※ 2008年3月期実績はTIS連結とインテックホールディングス連結でセグメントが異なっております。そのため、セグメント別売上高は記載しておりません。

※ 2009年3月期通期計画は見直しておりません。2009年3月期下期は通期計画から上期実績を減じた数値となっております。

(注) ITホールディングス連結では「その他」に含まれるリース事業について、2009年3月期第4四半期から新リース会計基準を適用いたします。

そのため、2009年3月期の上期実績は従来のリース会計基準を適用した数値であり、通期計画は新リース会計基準を適用した数値となっております。

2009年3月期上期に新リース会計基準を適用した場合、「その他」売上高は1,448百万円減少し4,269百万円となります。また、この前提での2009年3月期下期計画は2,731百万円となります。

2009年3月期通期見通し(旧TISグループ)

単位:百万円

旧TISグループ	2008年3月期			2009年3月期			前期比					
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	増減率	下期	増減率	通期	増減率
売上高	95,592 100.0%	103,669 100.0%	199,261 100.0%	106,555 100.0%	106,445 100.0%	213,000 100.0%	10,963	11.5%	2,776	2.7%	13,739	6.9%
アウトソーシング ネットワーク	39,921 41.8%	40,922 39.5%	80,844 40.6%	42,124 39.5%	39,876 37.5%	82,000 38.5%	2,203	5.5%	▲1,046	▲2.6%	1,156	1.4%
ソフトウェア開発	42,432 44.4%	50,223 48.4%	92,655 46.5%	52,814 49.6%	54,186 50.9%	107,000 50.2%	10,382	24.5%	3,963	7.9%	14,345	15.5%
ソリューション	11,296 11.8%	10,730 10.4%	22,026 11.1%	10,123 9.5%	10,877 10.2%	21,000 9.9%	▲1,173	▲10.4%	147	1.4%	▲1,026	▲4.7%
その他	1,942 2.0%	1,793 1.7%	3,735 1.9%	1,493 1.4%	1,507 1.4%	3,000 1.4%	▲448	▲23.1%	▲286	▲16.0%	▲735	▲19.7%
営業利益	▲1,077 ▲1.1%	11,509 11.1%	10,432 5.2%	6,273 5.9%	5,727 5.4%	12,000 5.6%	7,350	—	▲5,782	▲50.2%	1,568	15.0%
経常利益	▲640 ▲0.7%	11,810 11.4%	11,170 5.6%	6,759 6.3%	5,841 5.5%	12,600 5.9%	7,399	—	▲5,969	▲50.5%	1,430	12.8%
当期純利益	▲1,300 ▲1.4%	5,454 5.3%	4,153 2.1%	3,466 3.3%	2,534 2.4%	6,000 2.8%	4,766	—	▲2,920	▲53.5%	1,847	44.5%

- ※ 2009年3月期通期計画は見直していません。2009年3月期下期は、通期計画から上期実績を減じた数値となっております。
- ※ グループフォーメーション再編に伴い、2008年10月1日より、ユーフィット、アグレックス、クオリカ、AJS、エス・イー・ラボ、TISトータルサービス、TISリース、BMコンサルタント、TISソリューションビジネスがTISの子会社からITホールディングスの直接の子会社となり、TIS連結範囲が変わりました。2009年3月期下期計画及び通期計画は、上記9社を含む変更前のTIS連結範囲の数値ですが、簡便的に算出した試算数値となります。
- ※ 登録管理ネットワークの売上高547百万円を「その他」から「アウトソーシング・ネットワーク」に組み替えております。(2009年3月期上期) 上記組替え前の「アウトソーシング・ネットワーク」売上高は41,576百万円、「その他」売上高は2,041百万円となります。

2009年3月期通期見通し(TIS)

単位:百万円

TIS	2008年3月期			2009年3月期			前期比					
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	増減率	下期	増減率	通期	増減率
売上高	45,954 100.0%	51,458 100.0%	97,412 100.0%	54,744 100.0%	56,256 100.0%	111,000 100.0%	8,790	19.1%	4,798	9.3%	13,588	13.9%
アウトソーシング ネットワーク	15,428 33.6%	16,060 31.2%	31,487 32.3%	17,021 31.1%	15,979 28.4%	33,000 29.7%	1,593	10.3%	▲81	▲0.5%	1,511	4.8%
ソフトウェア開発	23,521 51.2%	28,502 55.4%	52,023 53.4%	31,872 58.2%	33,128 58.9%	65,000 58.6%	8,351	35.5%	4,626	16.2%	12,977	24.9%
ソリューション	7,005 15.2%	6,895 13.4%	13,900 14.3%	5,850 10.7%	7,150 12.7%	13,000 11.7%	▲1,155	▲16.5%	255	3.7%	▲900	▲6.5%
営業利益	▲4,330 ▲9.4%	5,944 11.6%	1,614 1.7%	1,434 2.6%	3,066 5.5%	4,500 4.1%	5,764	—	▲2,878	▲48.4%	2,886	178.8%
経常利益	▲3,927 ▲8.5%	5,893 11.5%	1,966 2.0%	2,231 4.1%	2,769 4.9%	5,000 4.5%	6,158	—	▲3,124	▲53.0%	3,034	154.3%
当期純利益	▲2,403 ▲5.2%	2,875 5.6%	471 0.5%	1,589 2.9%	1,411 2.5%	3,000 2.7%	3,992	—	▲1,464	▲50.9%	2,529	536.9%

※ 2009年3月期通期計画は見直していません。2009年3月期下期は、通期計画から上期実績を減じた数値となっております。

2009年3月期通期見通し(インテックホールディングス)

単位:百万円

インテックHD	2008年3月期			2009年3月期			前期比					
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	増減率	下期	増減率	通期	増減率
売上高	56,686 100.0%	66,465 100.0%	123,151 100.0%	57,277 100.0%	69,723 100.0%	127,000 100.0%	591	1.0%	3,258	4.9%	3,849	3.1%
アウトソーシング ネットワーク	—	—	—	18,848 32.9%	19,152 27.5%	38,000 29.9%	—	—	—	—	—	—
ソフトウェア開発	—	—	—	29,340 51.2%	42,160 60.5%	71,500 56.3%	—	—	—	—	—	—
ソリューション	—	—	—	4,789 8.4%	8,711 12.5%	13,500 10.6%	—	—	—	—	—	—
その他(注)	—	—	—	4,298 7.5%	▲298 ▲0.4%	4,000 3.1%	—	—	—	—	—	—
営業利益	3,630 6.4%	5,911 8.9%	9,541 7.7%	3,426 6.0%	6,574 9.4%	10,000 7.9%	▲204	▲5.6%	663	11.2%	459	4.8%
経常利益	3,203 5.7%	5,574 8.4%	8,777 7.1%	3,072 5.5%	6,328 8.9%	9,400 7.4%	▲131	▲4.1%	754	13.5%	623	7.1%
当期純利益	2,498 4.4%	2,022 3.0%	4,520 3.7%	1,274 2.3%	3,726 5.2%	5,000 3.9%	▲1,224	▲49.0%	1,704	84.3%	480	10.6%

※ 当期よりセグメント変更を行っております。そのため、2008年3月期のセグメント別売上高は記載していません。

※ 2009年3月期通期計画は見直していません。2009年3月期下期は、通期計画から上期実績を減じた数値となっております。

(注) インテックHDでは当期より新リース会計基準を早期適用し、転リース取引分はネット処理によっております。

ITホールディングス連結では「その他」に含まれるリース事業について、2009年3月期第4四半期から新リース会計基準を適用いたしますので、2009年3月期の通期計画は新リース会計基準を適用した数値ですが、2009年3月期上期はITホールディングス連結にあわせて従来のリース会計基準を適用して算出しています。

2009年3月期上期に新リース会計基準を適用した場合、「その他」売上高は1,448百万円減少し2,851百万円、売上高全体は55,829百万円となり、営業利益は3百万円増加し、3,429百万円となります。また、この前提での2009年3月期下期の「その他」売上高は1,150百万円、売上高全体は71,171百万円、営業利益は6,571百万円となります。

2009年3月期通期見通し(インテック)

単位:百万円

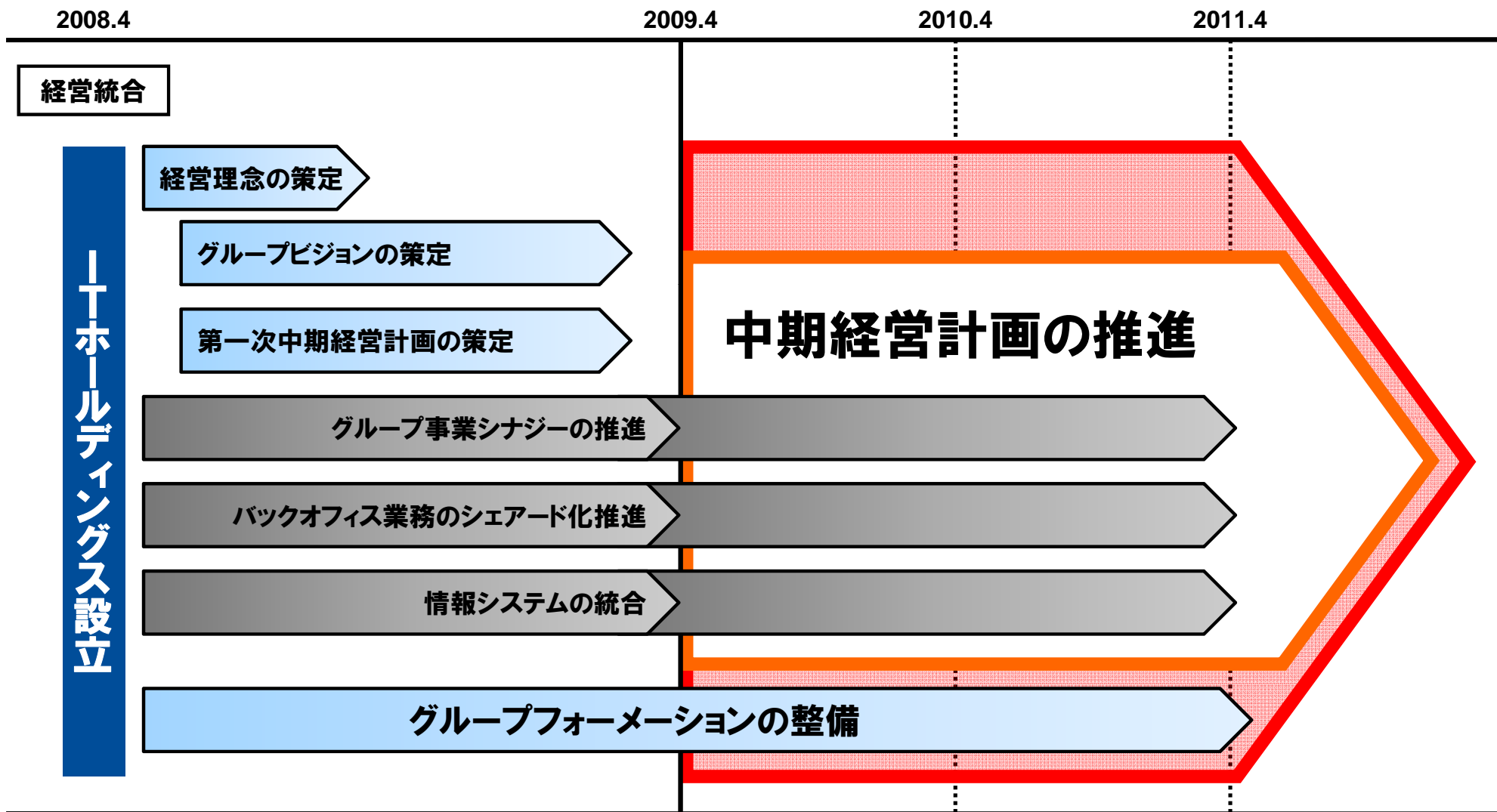
インテック	2008年3月期			2009年3月期			前期比					
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	増減率	下期	増減率	通期	増減率
売上高	44,662 100.0%	53,834 100.0%	98,496 100.0%	45,034 100.0%	58,966 100.0%	104,000 100.0%	372	0.8%	5,132	9.5%	5,504	5.6%
アウトソーシング ネットワーク	15,517 34.7%	15,819 29.4%	31,336 31.8%	15,496 34.4%	17,004 28.8%	32,500 31.3%	▲21	▲0.1%	1,185	7.5%	1,164	3.7%
ソフトウェア開発	24,855 55.7%	32,693 60.7%	57,548 58.4%	25,442 56.5%	36,058 61.2%	61,500 59.1%	587	2.4%	3,365	10.3%	3,952	6.9%
ソリューション	4,290 9.6%	5,322 9.9%	9,612 9.8%	4,096 9.1%	5,904 10.0%	10,000 9.6%	▲194	▲4.5%	582	10.9%	388	4.0%
営業利益	2,804 6.3%	4,906 9.1%	7,709 7.8%	2,544 5.7%	5,956 10.1%	8,500 8.2%	▲260	▲9.2%	1,050	21.4%	790	10.2%
経常利益	2,350 5.3%	4,554 8.5%	6,904 7.0%	2,176 4.8%	5,424 9.2%	7,600 7.3%	▲174	▲7.4%	870	19.1%	696	10.1%
当期純利益	▲1,039 ▲2.3%	2,769 5.1%	1,730 1.8%	859 1.9%	3,141 5.3%	4,000 3.8%	1,899	—	372	13.4%	2,269	131.2%

※ 2009年3月期通期計画は見直しておりません。2009年3月期下期は、通期計画から上期実績を減じた数値となっております。

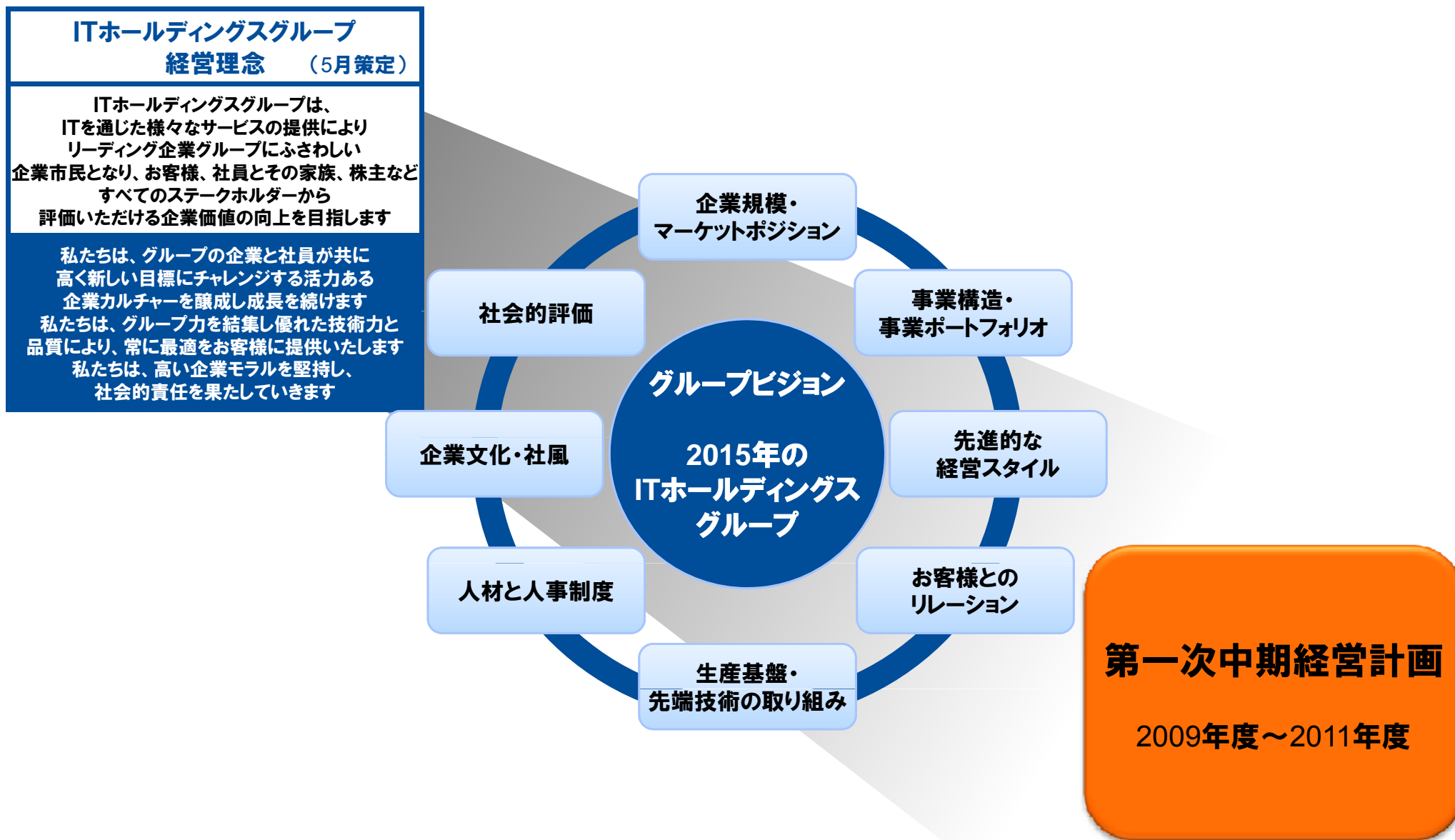


中期経営計画策定に向けての進捗状況

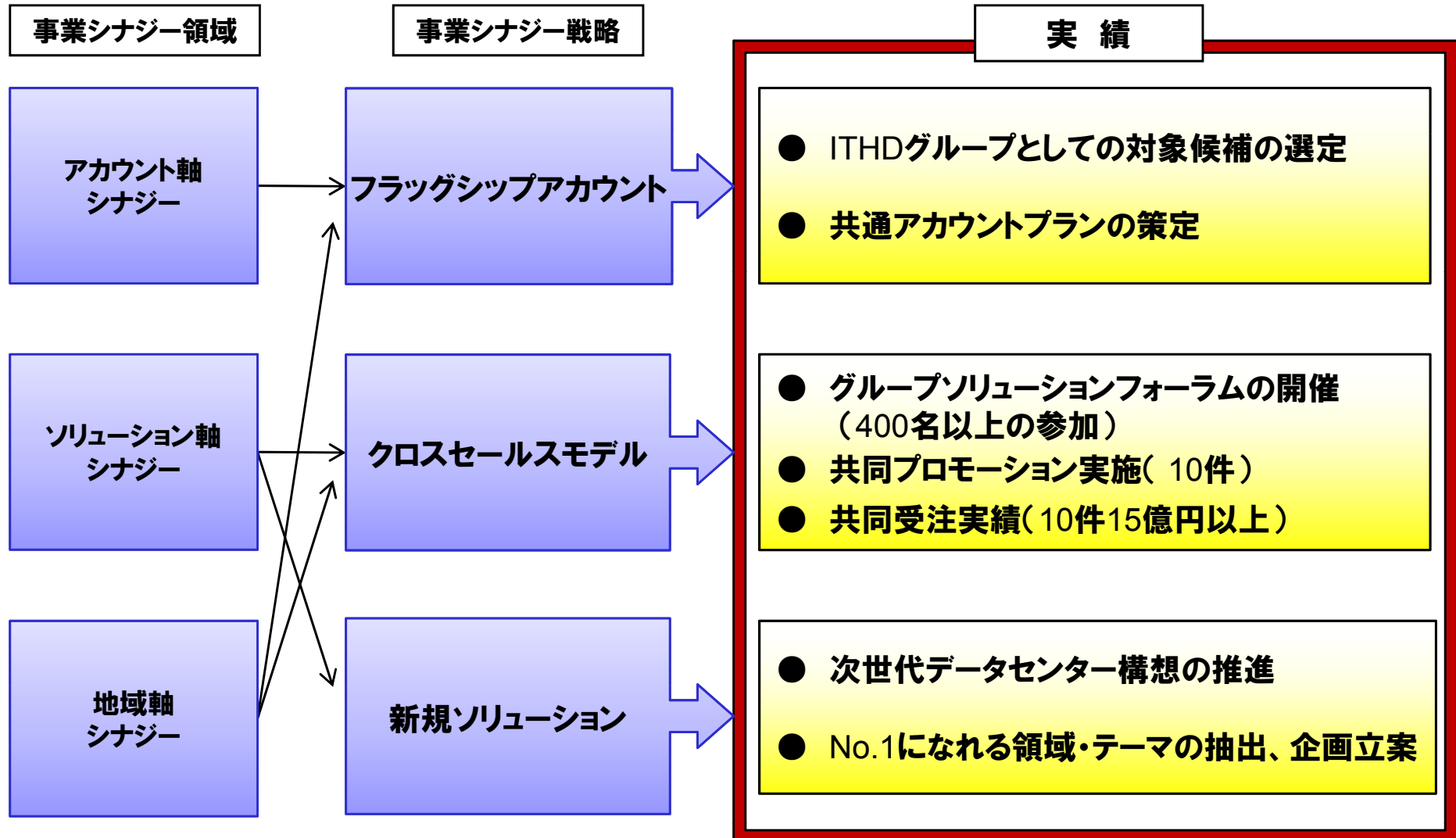
ITホールディングスの中期経営計画(ロードマップ)



中期経営計画策定の視点



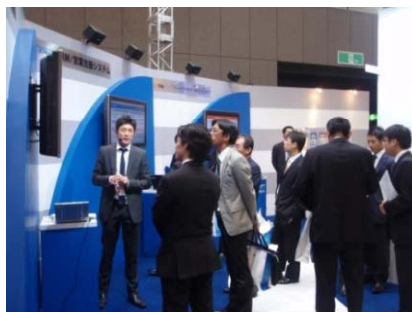
グループ事業シナジーの推進 (1/3)



主なグループ共同プロモーション展開

上期実績	4～6月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 【内覧会】ITHDグループソリューションフォーラム
	7～9月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全国シンククライアントプライベートセミナー(札幌・東京・富山・名古屋・大阪_{x2}・福岡) ■ 中部地区プライベートセミナー ■ 首都圏地区シンククライアントプライベートセミナー
下期計画	10～12月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「FIT2008」出展(金融業向け) ■ 北陸地区プライベートセミナー ■ 電子購買ソリューションプライベートセミナー(製造業向け)
	1～3月	<ul style="list-style-type: none"> ■ アウトソーシングソリューションプライベートセミナー ■ 「リテールテック2009」出展(流通業向け)

※2008年11月以降は予定



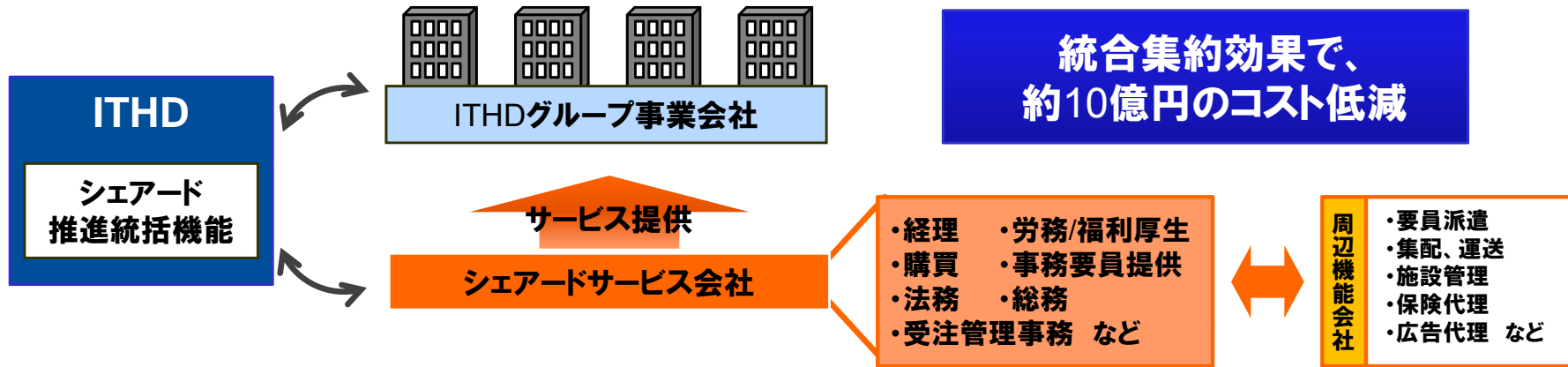
▲FIT2008 「TIS・インテック ブース」



▲第1回 ITHDグループソリューションフォーラム(内覧会)

グループ生産基盤の拡充	
上期実績	下期計画
<ul style="list-style-type: none"> ■ グループ各社の現状把握と共有 ■ グループ生産基盤の推進体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 優先度の高いテーマへの着手 ■ 競合他社に先んじた新技術への取り込み ■ グループ生産基盤の推進体制の整備
<p>→ワーキンググループ活動を通じたグループ各社における共通課題・強み弱みの明確化による、シナジーの期待できる活動項目の抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトマネジメント力の向上 ・開発生産性とプロダクト品質の向上 ・グループ間の情報交流活性化 <p style="text-align: right;">等</p>	<p>→各分野で先行する事業会社の活動を横展開による、グループ全体の生産基盤レベルの底上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ共通のプロジェクトマネジメント指針の策定 ・グループ各社の開発技術「見える化」マップの策定 ・グループSNSによる情報共有の推進 <p style="text-align: right;">等</p> <p>→グループ全体の中長期的な技術戦略の具体的施策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業を生み出すグループR&Dの検討 ・グループの技術力向上のための育成プログラム
<p>→グループ生産基盤推進会議の立ち上げと始動</p> <p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先行する事業会社の活動の展開による全体の底上げ ・各社の協力による共通課題の解決促進 	<p>→グループ生産基盤推進会議の定常化</p>

バックオフィス業務のシェアード化推進



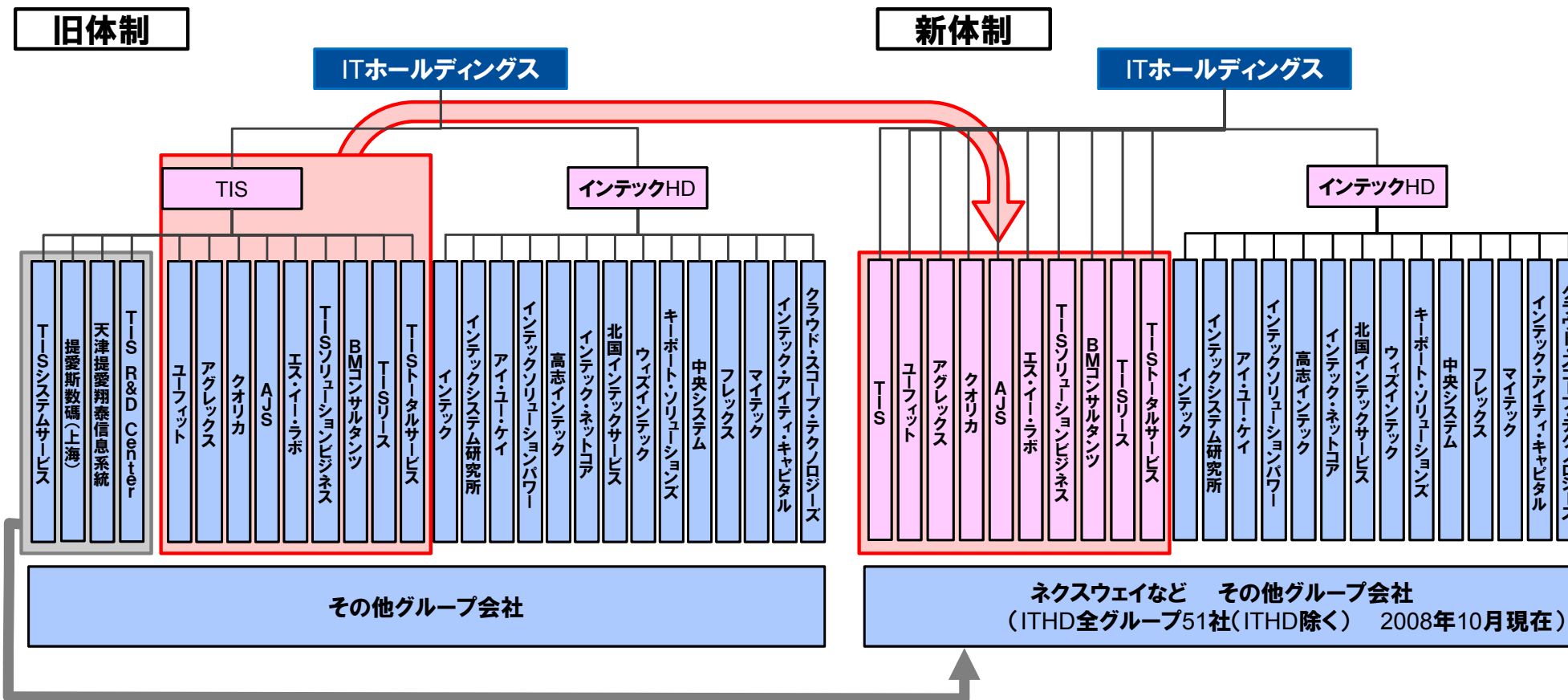
ロードマップ		
上期実績	下期計画	2009年度～
<p>企画(方針と原案の作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ グループ各社の現状調査 ■ 対象会社、対象業務 ■ 資産・オフィスの効率的な活用 ■ 集中購買に向けた業務連携 	<p>実施準備(業務の移行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ シェアードサービス会社設立準備 ■ 各事業会社に業務移行のプロジェクチームを編成 ■ 集中購買の開始 	<p>実施(順次移行と業務改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新会社設立 (50名から80名規模を想定) ■ 経理、労務業務のシェアード開始を予定 ■ 対象業務、対象会社の拡大 ■ 業務品質、効率の向上

情報システムの基盤整備		
上期実績	下期計画	2009年度～
<p>■ 情報システム構築の計画 グループ全体のインフラ基盤構築</p> <p>→スムーズなコミュニケーション基盤の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ会社間ネットワークの相互接続 ・内線電話網の相互接続 ・電子メール、TV会議の相互接続 ・グループの標準グループウェアの検討 ・統合ID管理、統合アドレス帳の運用検討 ・グループ業務連絡機能の運営検討 <p>■ グループ各社の経営情報システム構築のための現状調査</p>	<p>■ インフラ基盤の構築</p> <p>→2009年スタート以降に向けて準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重複設備の統廃合の促進 ・インフラ基盤構築のグループ展開 	<p>■ インフラ基盤の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ業務連絡機能の運用開始 ・グループ社員全員の統合ID管理、統合アドレス帳の運用開始 <p>■ インフラ基盤の構築(継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種グループウェアの運営標準化の推進 ・電子メールシステムの標準化の推進 <p>■ 経営情報システム構築</p>

グループフォーメーションの整備

目的: グループシナジーを最大化

2008年10月1日に、株式会社ユーフィット、株式会社アグレックス、クオリカ株式会社、AJS株式会社、株式会社エス・イー・ラボ、TISソリューションビジネス株式会社、BMコンサルタンツ株式会社、TISトータルサービス株式会社、TISリース株式会社が、TIS株式会社の子会社からITホールディングスの直接の子会社になりました。



ネクスウェイ 【M&A】 (インテック子会社)

【会社紹介】

- リクルートのFAX配信サービス事業部が母体となり、分社独立。
FAXの一斉配信サービスに始まり、伝票・帳票の送信サービスなど、ビジネスコミュニケーションを便利にするサービスを展開し成長。
- 約8,000社・約25,000契約の顧客基盤を有する。
- インテックで展開するFAX関連事業との協業体制の構築、システムや営業体制の統合により、事業規模の拡大を図る。

【グループ会社により期待される効果】

- 既存のグループ会社のFAX関連ビジネスの強化
- 既存のFAXによる一斉配信サービスに関するノウハウを、Web EDIなどの新規ビジネスに展開できる。

クラウド・スコープ・テクノロジーズ 【設立】

【会社紹介】

- インテック・ネットコアが開発してきた次世代ネットワーク監視システムPATH MANAGERを軸に、事業活動を開始。

【グループ会社により期待される効果】

- 次世代ネットワーク(NGN)管理システムの競争力強化と、グループにおけるNGNでの中核的な役割を担うことを期待。

本資料における一切の記述内容は、ITホールディングスグループ（ITホールディングスおよびグループ会社等）の現時点に関する入手可能な情報に基づき、一部主観的な前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果は様々な要素により大きく異なる可能性があります。